

# 中央区平和展

～ 永遠の平和を願って～



昭和六十三年三月十四日 議決第 十五号  
昭和六十三年三月十五日 告示第二十六号

中央区平和都市宣言

いまいとたちとまり

平和の尊さをみつめよう

ささやかな幸せも

こよなき繁栄も

平和の光が消えたなら

すべてが失われる

私たちの手にある輝きと

明日の世代に伝えよう

(一九六三年三月一日)

この日 私たちは

永遠の平和を願う

中央区平和都市で

あることを宣言する

玉音放送の翌日、皇居前広場に集まる人々（撮影：石川光陽）

## 戦後80年平和祈念展示 開催期間

令和7年8月1日(金)から  
10日(日)までの開館時間

## 通常展示 開催期間

令和7年8月5日(火)から  
18日(月)までの各施設の開庁時間

会場

本の森ちゅうおう2階  
郷土資料館企画展示室

会場

中央区役所本庁舎1階	ロビー
日本橋区民センター2階	第1洋室
月島区民センター1階	ロビー
晴海区民センター1階	メインエントランス

## 「中央区平和展」の開催にあたって

永遠の平和は全人類共通の願いです。平和こそ人類繁栄の礎であり、すべての英知と力を結集して築き上げるかけがえないものであります。しかしながら、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や、イスラエル・パレスチナ問題など、今なお世界各地で紛争やテロが発生し、多くの尊い命が無残にも奪われている痛ましい現実があることに、深い悲しみと強い憤りを覚えます。

本区は昭和63年（1988年）3月15日の「中央区平和都市宣言」以来、この「平和展」をはじめ、「小・中学校巡回平和展」や、戦災に関する記録・資料をいつでも誰でもご覧いただけるホームページ「平和祈念バーチャルミュージアム」、「平和の都市（まち）の楽しい集い」などの平和事業を積極的に展開してまいりました。

終戦から現在に至るまで、日本は戦火を交えることなく、多くの困難を乗り越えながらも平和と繁栄を築いてまいりました。その礎となったのは戦争の惨禍を深く心に刻み、二度と過ちを繰り返さぬという強い誓いであります。

戦争を知らない世代が大半を占めるようになった今、悲惨な戦争の歴史とその教訓を後世に継承していくことは、今を生きる私たちに課せられた大きな使命です。今後も「平和」を区政のあらゆる施策の根幹に据え、恒久平和の実現に全力でまい進してまいります。

戦後80年を迎える本年の「中央区平和展」は、通常展示の開催時期を例年の3月から、「終戦の日」がある8月へと変更するとともに、「本の森ちゅうおう」にて戦後80年平和祈念展示を行います。本区における空襲被害や学童疎開、戦中・戦後の生活など、当時の状況を物語る写真や資料の展示のほか、戦災体験者の証言等を上映します。戦争の記憶を風化させることなく後世へとしっかりと継承し、あらためて平和の尊さ・大切さを考え、見つめ直すきっかけとなることを切に願っております。

貴重な写真や資料をご提供いただきました多くの方々から御礼申し上げます。

令和7年8月

中央区長 山本 泰人

# 永遠の平和……。それは人類共通の願いです。

## 戦後80年平和祈念展示 8月1日(金)～10日(日)

会場	時間
本の森ちゅうおう2階 郷土資料館企画展示室	月～土曜日 午前9時～午後9時 日曜日 午前9時～午後5時

### 写真パネル等展示リスト

資料名	提供者	資料名	提供者
金属供出 一銀座通りの鉄柱もー	京橋図書館所蔵	隣組の記念写真	桂田一郎
罹災者が行き交う晴海通り	撮影 石川光陽	手紙を書く疎開児童	西山隆
警視庁の指導による防毒マスク訓練	撮影 梅本忠男(立命館大学収蔵資料)	路上に空いた被弾穴	東京大空襲・戦災資料センター
戦禍が拡大し、疎開学寮で授業を行うようになった	河合徳司	金属回収で忠犬ハチ公も供出	毎日新聞社
疎開地へ出発する児童たち/昭和19年8月	共同通信社	救護班の訓練風景	有田芳男

他、計43枚

### 物品資料リスト

資料名	提供者	資料名	提供者	資料名	提供者
ポスター 焼夷弾の脅威	中央区所蔵	防空カバー	中央区所蔵	灯火管制用電球	郷土資料館所蔵
日本紙幣に似せた伝単		燈下管制 東京電燈株式会社		千人針	
愛国イロハカルタ		防毒マスク		国民服上着	
掲示グラフ 大東亜戦争画報		ポスター 報国学帽戦闘帽		水筒	
新案空中戦競技		警報発令看板		湯たんぼ	

○平和関連書籍コーナーも設置しています。

## 通常展示 8月5日(火)～18日(月)

会場	時間
中央区役所本庁舎1階 ロビー	午前8時30分～午後5時15分(土曜日・祝日・8月17日(日)は除く)◎水曜日は午後7時まで
日本橋区民センター2階 第1洋室	午前8時30分～午後5時(土曜日・日曜日・祝日は除く)◎水曜日は午後7時まで
月島区民センター1階 ロビー	午前8時30分～午後7時(祝日は除く)◎最終日は午後5時15分まで
晴海区民センター1階 メインエントランス	月～金曜日 午前8時30分～午後9時 土曜日 午前9時～午後9時 日曜日 午前9時～午後5時 (祝日・8月17日(日)は除く)◎最終日は午後5時15分まで

### 写真パネル等展示リスト

#### 中央区役所本庁舎1階ロビー

資料名	提供者	資料名	提供者
銀座街路灯の取りはずし 一第一次金属回収撤去式ー	京橋図書館所蔵	接収された本館と木造旧館は米国陸軍病院となった。病院屋上には星条旗が見える	聖路加国際大学
炎上する銀座四丁目鳩居堂付近	撮影 石川光陽	昭和20年3月10日東京大空襲直後の旧日本橋区両国一帯	西山隆
昭和21年3月、京華国民学校集団疎開解散式の記念撮影	河合徳司	銀座山山閣前の消火活動	東京大空襲・戦災資料センター
京橋一丁目の隣組の防空演習	共同通信社	女性労働・給食用のパン製造に励む女子工員	毎日新聞社

他、計44枚

#### 日本橋区民センター2階第1洋室

資料名	提供者	資料名	提供者
惨禍のあと 一浜町河岸ー	京橋図書館所蔵	焼夷弾で焼き尽くされた東京大空襲(昭和20年3月10日)の惨状	共同通信社
空襲で焼けた歌舞伎座	撮影 石川光陽		
空襲で灰燼に帰した馬喰町付近	後藤種吉	国民学校の学童疎開 出発する子どもたちと残る子どもたち	毎日新聞社

他、計25枚

#### 月島区民センター1階ロビー

資料名	提供者	資料名	提供者
終戦直後の露店 一銀座通りー	京橋図書館所蔵	銀座の復興に向け地面を掘り返す人々	読売新聞社
泰明国民学校にも直撃弾	撮影 石川光陽	「月島第3小」やっと接収解除 机や椅子を担ぎ母校に帰る児童ら	毎日新聞社
東京芝浦電気銀座配給所周辺の消火活動	東京大空襲・戦災資料センター		

他、計21枚

#### 晴海区民センター1階メインエントランス

資料名	提供者	資料名	提供者
大空襲で焼失した京橋周辺	京橋図書館所蔵	B29の猛爆で燃える銀座を数寄屋橋から見る	東京大空襲・戦災資料センター
玉音放送の翌日、皇居前広場に集まる人々	撮影 石川光陽	太平洋戦争 東京空襲 燃える銀座通りの焼夷弾	毎日新聞社
米軍による接収中の病院(屋上に星条旗)	聖路加国際大学		

他、計20枚

### 物品資料リスト

中央区役所本庁舎1階ロビーに展示しています。

資料名	提供者	資料名	提供者	資料名	提供者
慰問袋 3種	中央区所蔵	生産青年	中央区所蔵	戦勝カルタ	中央区所蔵
少女更正服絵葉書		国民の音楽第2巻3・6～10・12・第3巻2・4～7・9号		敵陣突破パズルゲーム	
家庭用米穀通帳		マツタカ印国産弁当箱		墨ぬり教科書(初等科算数3・5・6)	
通知文(のり佃煮配給)		砂袋		小学校算数教科書	
たすき「防火担任者」		時局防空必携		奉公袋	
燈火管制の訓練(通知)		戦時紙芝居「防空必携我等の防空」		M69油脂焼夷弾	
通知文「軍官民連合総合防空訓練実施」					

(提供者:敬称略・順不同)

### DVD上映

通常展示の各会場では戦災体験者の証言や平和アニメなどのDVDを上映します。

### 資料の収集

区では、平和関係資料の収集および保存を行っています。戦時下を物語る写真や物品がありましたら、提供のご協力をお願いします。

問合せ先: 区民部地域振興課地域事業係 TEL: 3546-5338

○展示内容は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。